

「支持構造物」2023年度後期計画

■2023年度後期実施概要（2023年度前期に浮体設計、後期に支持構造物について実施予定）

担当：九州大学 工学研究院 海洋システム工学部門 海洋システム設計学 宇都宮 智昭 教授
兼 洋上風力研究教育センター支持構造物・洋上送電研究部門長

概要：浮体の波浪中応答について、基礎理論および具体的な解析方法について講義・演習をおこなう。後期開講の支持構造物においては、周波数領域・時間領域それぞれの応答解析法とともに、風車支持構造物としての風車・浮体・係留連成系としての時刻歴応答解析についても扱う。

受講条件：前期に開講する「浮体設計」を受講済みであること。

到達目標：浮体の波浪中応答解析法の基礎理論を理解するとともに、風車支持構造物としての浮体・係留系の解析能力を身に付ける。

講義形式：オンライン授業。実際の授業時間後に、録画した動画を視聴し受講することも可能。

受講料：73,000円／名

■2023年度後期実施計画：全15回（1回90分）

実施計画は、2023年度前期に案内予定